

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム あおば

## 目標達成計画書

作成日: 平成 25 年 10 月 17 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなるよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	5	身体拘束をしないケアの実践	身体拘束防止について定期的な話し合いと、スピーチロックの防止の徹底により、入居者の状態変化に合わせた柔軟な対応ができるようにする。	身体拘束防止ノートの活用や月1回のミーティングやカンファ時で見直し、検討を行う。また、常に理念に立ち返り、普段から改善点等を職員間でお互いに言い易い関係づくりをしていく。	12ヶ月
2		今後のグループホームのあり方について	日常生活、共同生活が可能の方が暮らす環境から、重度な方の介護まで実施していく体制に広がり、ご本人・ご家族の意向を聞きながら重度化や終末期に対応していくための検討をしていく。	利用者個別の介護サービスの内容を再度検討し、一人ひとりに合ったケアを職員間で話し合い、入居者の身体機能維持と生きがいに繋がる目標をもった暮らしの支援に取り組んでいく。また、入居者を中心としたチームワークづくりに励む。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。